



恋の詩が添えられた川上の作品などが並ぶ会場

須坂版画美術館 企画展

恋の
アート

須坂市の須坂版画美術館・平塚運一版画美術館は、片思

いや失恋など恋愛をテーマにした企画展を開いている。同館がある須坂アートパークは、デートなどに適した場所として静岡市のNPO法人から「恋人の聖地」に認定されている。記念モノメントの設置から2年を迎えたことから企画した。

約60点を集めて展示した。横浜生まれの版画家川上澄生（1895～1972年）の「顔」には目の大きな女性

が描かれ、詩が添えられている。「大勢の顔は 塵芥の如く流れ あなたの顔のみ花の如く」といった内容で、女性への恋心を表現している。

佐久市の版画家田嶋健さん（40）の6点組み作品「あいうえおとこ あいしたおんな」は、男女の出会いから別れまでを表現。男性が女性に恋心を抱く様子や、女性にたたかれて振られる場面などをユーモラスに描いている。

同館学芸員の杉本あゆ子さん（43）は「誰もが共感できる作品が多い」と話している。29日まで。水曜休館。入館料300円（中学生以下無料）。